

## JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川 敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 121
分水嶺区分:	H238周防堂山～松倉山(H239)北峰コル502		(3)山行日:	2005年	3月	15日 (4)天候 曇り時々晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981						
片岡次雄	12093						
清水和男	13007						
計			3名			計 名	

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	福島町・檜倉川林道～小股沢川との分岐～310m～594m～周防堂山～614m～502m(往復)												
アプローチ:	函館～R228～福島町												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	最終人家	渡島福島	140	14	9.1	41	29	25.8	16.0		7:30		
分水嶺到達点 H238	周防堂山661.8m	渡島福島	140	10	31.7	41	29	55.7	667.0	12:25	12:35	B-4	2
	P614m	渡島福島	140	10	40.9	41	29	39.3	612.0	13:00	13:05	B-4	2
	コル502m (引き返す)	渡島福島	140	10	59.0	41	29	14.0	503.0	13:25	13:30	B-4	2
分水嶺離別点	P614m	渡島福島	140	10	40.9	41	29	39.3	612.0	14:00	14:00	B-4	2
歩行終了点	最終人家	渡島福島	140	14	9.1	41	29	25.8	16.0	17:30		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												9時間10分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H238	周防堂山				積雪のため三角点は発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1	小股沢川との分岐点から西側に向かって林道が造られていて、それがうねうねと迂回しながら594mの下あたりまで続いている。積雪のために正確には不明だが、明らかに林道である。この道は地図上にはない。

(9)水および植生に関連した特記事項

2	ブナやタケカンバの喬木林で、稜線沿いにはシナノキが見られる。

(10)その他の特記事項

	駐車地点から小股沢川との分岐点までをスキーで、そこから上はスノーシューを使用。 迂回する林道を避け、目指す周防堂山を最短距離でやろう・・・という清水和男氏の発案で、小股沢川沢の分岐点から西に向かって「3～414m～594m」を直登し、周防堂山を目指した。594mの登りはきつかったが特に問題はなく、3時間半で周防堂山に着いた。頂上には強風が吹き荒れていたが比較的視界はよく、北方に前千軒岳・大千軒岳を遠望することができた。周防堂山は東側に雪庇が張りだしが状態で切れ落ちていて、下から仰ぎ見る姿には堂々たる貫禄と風格を感じる。往路のトレースを頼りに重い足取りで帰路につく。疲れたが満ち足りた山行だった。積雪150～180cm
--	--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	